



平成 30 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社城南進学研究社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 下村 勝己  
( J A S D A Q ・ コード 4 7 2 0 )  
問合せ先 取締役執行役員 CAO 杉山 幸広  
( T E L . 0 4 4 - 2 4 6 - 1 9 5 1 )

### 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想と実績値との差異及び特別損失計上に関するお知らせ

当社グループは、平成30年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績において差異が生じたのでお知らせするとともに、下記のとおり特別損失を計上しましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 平成30年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,990	百万円 288	百万円 334	百万円 409	円 銭 50.89
実績値(B)	7,024	304	352	141	17.58
増減額(B-A)	34	16	18	△268	-
増減率(%)	0.5%	5.6%	5.4%	△65.5%	-
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	6,926	335	402	192	23.93

#### 2. 修正の理由

当連結事業年度の売上高、営業利益、経常利益につきましては最終の売上高の伸長及び経費削減の結果、前回の予想数値を上回る見込みとなりました。

一方で下記4.の通り当社グループにおいて特別損失を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益が減少することとなりました。

#### 3. 期末配当について

期末配当につきましては、1株当たり10円から変更はございません。

#### 4. 特別損失の計上について

少子化に伴い、特に大学受験人口の減少が進んでいること、教育ニーズの多様化及び競争の激化等により、今後予備校事業のビジネスモデルは厳しい事業環境が見込まれるため、事業形態の転換を図っていく目的で校舎の統合・閉鎖のための関連費用及び固定資産の減損損失を合わせた259百万円を平成30年3月期において計上することとなりました。

以上